

5年—Unit 6 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域

1. 単元目標

- ・国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりすることができる。また、それらを書き写すことができる。(知識及び技能)
- ・行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・他者に配慮しながら, 行きたい国や地域について説明したり, 自分の考えを整理して伝え合ったりしようとする。(学びに向かう力, 人間性等)

2. 言語材料

- Where do you want to go? I want to go to (Italy). Why? I want to [see / go to / visit] (the Colosseum). I want to eat (pizza). I want to buy (olive oil). It's [exciting / delicious / beautiful / great / fun].
- 国 (America, Australia, Belgium, Brazil, Canada, China, Egypt, Finland, France, Germany, India, Ireland, Italy, Japan, Korea, Peru, Russia, Spain, Thailand, the UK), 状態・気持ち (beautiful, delicious, exciting, fun), 動作 (visit, buy, eat), where, coffee
[既出] 動作, 状態・気持ち, 国, 飲食物

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について, 伝えようとする内容を整理した上で, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字, 小文字を活字体で書くことができるようにする。また, 語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆世界遺産や地域の特色についてまとまった話を聞いて, 具体的な情報を聞き取るとともに, 4線に国名を書き写すことができる。</p> <p>○お勧めプランを聞こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のお勧め冬休み旅行プランについて知る。 <p>【Let's Watch and Think 1】 p.42, 43</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像資料を視聴し, 聞こえた情報を共有しながら, どの国か考える。 <p>【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78)</p> <p>○キーワード・ゲーム(国名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになって指導者の言う国名を繰り返し, キーワードでは間に置かれた消しゴムを取る。 <p>○Let's Read and Write ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国名を書き写す。 	<p>◎世界遺産や地域の特色について具体的な情報を聞き取っている。<発表観察・記述分析・振り返りカード点検></p> <p>◎国名を書き写している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>
2	<p>◆行きたい国を聞いたり言ったりすることができる。国名を選んで4線に書き写すことができる。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.42, 43</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時のメモをもとに指導者の後に続けて言う。 ・ペアで言えることを確認し合ったうえで, 発表する。 	

	<p>【Let's Play 1】 ポインティング・ゲーム p.42, 43</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の言う語句や文を聞いて、誌面写真をさし示す。 ・友達と交代に語句や文を言ったり、写真をさし示したりする。 <p>【Let's Chant】 Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答える。 ・ペアで行きたい国を伝え合う。相手を変えて数回繰り返す。 <p>○Let's Read and Write ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国を選んで書き写し、英文を完成する。 ・完成した文を声に出して言う（読んでみる）。 <p>○Sounds and Letters ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つ国旗の絵と国名をつなぐ。 	<p>◎行きたい国を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎行きたい国を選んで国名を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
<p>3</p>	<p>◆どこの国に行きたいかを尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk： 出身地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Chant】 Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像資料を見て、有名な食べ物、場所、建物の特徴や魅力の言い方を知る。 ・指導者の後に続けて分かったことを言い、インタビューの内容を確認する。 <p>【Let's Chant】 Where do you want to go? p.43</p> <p>【Activity】 ① p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、行きたい国(場所)を尋ねたり答えたりする。ペアを替えて繰り返す。 <p>○Let's Read and Write ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい国(場所)の名前をポスターに書き写す。 <p>○Sounds and Letters ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を活用して、始まりの音が違う言葉を探す。 	<p>◎行きたい国を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
<p>4</p>	<p>◆お勧めの国について伝え合う。</p> <p>【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴しながらジングルを言う。 ・アルファベットの文字をヒントに国名を言う。 <p>【Let's Watch and Think 3】 p.45</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に児童用テキストの写真を見て、予想を立てる。 ・4つ国の観光名所、建物、食べ物、お土産物などの特徴や魅力を話している映像資料を視聴し、線で結ぶ。 ・答え合わせの時は、使われていた You can ~ の表現をみんなで言いながら確認する。 <p>○マッチング・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光名所/食べ物/飲み物/買える物と It's delicious. It's fun. 等を、理由とともに言う。 <p>【Activity】 ② p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、お勧めの国を伝え合い、誌面表に記入する。 	<p>◎お勧めの国を、理由も含めて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカ</p>

	<p>○Let's Read and Write ④</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介したい国(場所)の観光名所や施設についての文を、語順を意識しながらポスター(ワークシート Unit 6-4)に書き写す。 	ード点検
5	<p>◆お勤めの国について紹介することを整理し、伝え合うとともに、文字の音を推測しながら音声で慣れ親しんだ簡単な語を読む。</p> <p>○Small Talk: 行きたい国</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>【Jingle】Countries Jingle p.48 (p.78)</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴しながら言う。 <p>【Let's Chant】Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌詞を自分の情報に置き換えて言う。 <p>【Let's Listen】 p.47</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真をヒントに、どの国か予想を立てる。 ヒントになる言葉や表現を確認する。 <p>【Let's Watch and Think 4】 p.46</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料を見て、分かったことを誌面□に書き発表する。 <p>【Activity】③ p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> You can see / eat / buy / drink ~. などの既習表現も使って紹介することを考える。 <p>○Let's Read and Write ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスターを見て、知っている単語に印を付ける。 	<p>◎お勤めの国について紹介することを整理し、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎お勤めの国について紹介することを整理し、文字の音を推測しながら読んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆お勤めの国について紹介することを整理し、文字の音を推測しながら他者に伝える目的をもって書き写し、意味が分かる。</p> <p>○Small Talk: 行きたい国で紹介したい土産物や建造物</p> <p>【Let's Chant】Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <p>【Activity】④ p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめた紹介内容を確認し、相手意識をもって人に伝えるための練習をしたり、ペアでアドバイスをしたりする。 <p>○Let's Read and Write ⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介したい国(場所)の名物料理や飲み物についての文を、語順を意識しながら書き写す。 <p>【Let's Watch and Think 5】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> Hikari と Kenta のお勤めの国の発表を聞き、内容を聞き取るとともに、自分の発表のイメージをもつ。 <p>○スピーチを工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のお勤めの国の紹介をペアで役割を交代しながら練習し、2か所の観光案内を共通理解する。 	<p>◎お勤めの国について紹介することを整理し、文字の音を推測しながら他者に伝える目的をもって書き写している。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆他者に配慮しながら、自分のお勤めの国について内容を整理し伝えようとする。</p> <p>【Jingle】Countries Jingle p.48 (p.78)</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを言う。 ・ジングルに出てくる国以外にどんな国があるかみんなで考える。 <p>○お勧めの国を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、紹介する側と聞く側に分かれて、互いのお勧めの国とその理由を伝え合う。 ・その時、どのように工夫をすれば相手に伝わりやすいかを考えながら伝え合う。 <p>○Sounds and Letters ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で、始まりの音が違う言葉を探す。 	<p>◎他者に配慮しながら、自分が行きたい国について理由も含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、自分のお勧めの国について内容を整理し伝え合おうとする。</p> <p>【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを言う。 ・ペアで Countries Jingle シートを見て、指導者が言う国名を聞き、どのアルファベットで始まるかを考え、国をさし示しながら言う。 ・ペアで問題を出し合う。 <p>○お勧めの国を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時紹介された国の中から自分がいちばん行きたい国とその理由を、例を参考に書き写す。 ・グループの友達にその情報を伝える。 <p>○行きたい国ランキングを投票で決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の行きたい国を答えて、学級の行きたい国ランキングを決める。 <p>【STORY TIME】 p.49</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞く。 	<p>◎他者に配慮しながら、自分のお勧めの国を紹介したり、紹介を聞いて情報を聞き取ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

※アルファベットの文字には読み方のほかに音があることに気付いたり、その音が分かったりすることについては、単元を通して、行動観察や振り返りカードに記載されたことを点検するなどして、適宜評価する。

5年 Unit 6—Lesson 1 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 1/8時間
目 標 世界遺産や地域の特色についてまとまった話を聞いて、具体的な情報を聞き取るとともに、4線に国名を書き写すことができる。
準 備 旅行のポスターやパンフレットなど (Small Talk 用), 教師用カード (国旗), ワークシート (Unit 6-1), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。	
5分	○お勧めプランを聞こう。 ・指導者のお勧め冬休み旅行プランについて知る。	・指導者は、あらかじめ作成しておいた旅行お勧めポスターを見せて、お勧め旅行を紹介する。さらに、次の休みに旅行へ行くならどこがいいかと児童に問いかける。この活動を通して、本単元の見通しをもてるようにする。	旅行のポスターやパンフレットなど
<p>T: Here is ~. ~ is nice. Look. This is the poster of Yamanashi. Yamanashi is nice, too. You can see Mt. Fuji. It's beautiful. It's the world heritage. You can visit many hot springs, <i>Onsen</i>. You can eat delicious fruits.</p> <p>T: Do you want to go to Yamanashi? Do you want to see Mt. Fuji? Do you like fruits? Do you want to eat fruits? Where do you want to go on your holidays?</p>			
14分	【Let's Watch and Think 1】 p.42, 43 ・映像資料を視聴し、聞こえた情報を共有しながら、どこの国かを考える。	・まず、誌面の写真を見ながらどんな建物や食べ物があるかをペアで確認し、どこの国の情報かを予想させる。 ・各自聞き取れた内容を誌面にメモするように指示する。 ・児童と一緒に聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて確認する。 ・映像資料を通して、児童が本単元終末での活動への見通しをもてるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト
<p>エジプト: You can see many pyramids in Egypt. The pyramids are very big and old. You can ride on a camel. It's fun.</p> <p>アメリカ: You can see the Statue of Liberty in New York. It's great! You can eat big hamburgers. They are delicious. You can buy cool T-shirts.</p> <p>中 国: You can see the Great Wall (Banri-no-Chojo) in this country. It's very long and very old. It's about 3,000 kilometers long.</p> <p>ロ シ ア: You can visit Red Square (Aka-no-Hiroba) in Russia. Red Square is a big city plaza. It's very beautiful. You can eat pirozhki. It's delicious.</p>			
		◎世界遺産や地域の特色について具体的な情報を聞き取っている。<発表観察・記述分析・振り返りカード点検>	
5分	【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78)	・ゆつくりバージョンを通して視聴する。 ・26の国旗に注目させながら、再び視聴し言える国名は言うように促す。	デジタル教材

		デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Countries」	
5分	<p>○キーワード・ゲーム(国名)</p> <p>・ペアになって指導者の言う国名を繰り返し、キーワードでは間に置かれた消しゴムを取る。</p>	<p>・国名を言いながら、黒板に教師用カード(国旗)を掲示する。</p> <p>・Jingleを使い“A for ...?”と問いかけてスタートし、初頭のアルファベットの名前を意識させてもよい。</p> <p>・しっかり国名を聞いて繰り返すように伝える。また、児童が集中して聞けるように、指導者は小さな声で言っていたのを突然大きな声で言ったり、見せる国旗カードと違う国名を言ったりするなど、活動に変化をもたせるとよい。</p>	デジタル教材 教師用カード (国旗)
	<p>キーワード・ゲームの進め方</p> <p>ペアで行う。2人の間に消しゴムを1つ置き、指導者の言う語を繰り返して言う。あらかじめ決めておいたキーワードが聞こえたら、繰り返さず、消しゴムを取る。早く取ったほうが勝ち。</p> <p>Canada がキーワードの場合</p> <p>T: Australia</p> <p>S: Australia. (キーフレーズ以外の時は指導者に繰り返して言う。)</p> <p>T: Canada</p> <p>S: 消しゴムを取る。</p>		
10分	<p>○Let's Read and Write ①</p> <p>・国名を書き写す。</p>	<p>・音声で慣れ親しんだ国名を確認し丁寧に書きさせる。ワークシートの4線に丁寧に文字と文字の間を詰めて書くよう言う。個別に支援をする。</p> <p>◎国名を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 6-1)
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 2 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 2/8 時間
目 標 行きたい国を聞いたり言ったりすることができる。国名を選んで4線に書き写すことができる。
準 備 教師用カード (国旗), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-2, 6-10), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。	
10分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.42, 43</p> <p>・前時のメモをもとに指導者の後に続けて言う。</p> <p>・ペアで言えることを確認し合ったうえで、発表する。</p>	<p>・前時に聞き取ったメモをもとに、児童が情報を言えるよう問いかけながら、やり取りをする。</p> <p>T: You can see many pyramids in Where? S: (児童に期待する答え) Egypt. T: The pyramids are ... ? S: (児童に期待する答え) Big and old.</p> <p>・同じようにほかの3つの国の情報を確認する。</p> <p>・黒板に4つの国旗カードを掲示して、分かったことを、メモをもとに発表させる。</p>	<p>教師用カード (国旗 : Egypt, America, China, Russia) 児童用テキスト</p>
<p>やり取りの例</p> <p>T: You can see many pyramids in ...? S: Egypt. T: That's right. You can see many pyramids in Egypt. Do you want to see pyramids? S: Yes. T: I see. You want to see pyramids. Pyramids are ...? S: Big and old. T: Yes, pyramids are big and old. You can ride on a ...? S: “ラクダ” T: “ラクダ” in English? S: T: “ラクダ” is a “camel” in English. Do you want to see camels? Do you want to ride on a camel? (乗っているジェスチャーをする)</p>		<p>① You can see many pyramids in Egypt. The pyramids are very big and old. You can ride on a camel. It's fun.</p> <p>② You can see the Statue of Liberty in New York. It's great! You can eat big hamburgers. They are delicious. You can buy cool T-shirts.</p> <p>③ You can see the Great Wall (Banri-no Chojo) in this country. It's very long and very old. It's about 3,000 kilometers long.</p> <p>④ You can visit Red Square (Aka-no-Hiroba) in Russia. Red Square is a big city plaza. It's very beautiful. You can eat pirozhki. It's delicious.</p>	
7分	<p>【Let's Play 1】 ポインティング・ゲーム p.42, 43</p> <p>・指導者の言う語句や文を聞いて、誌面写真をさし示す。</p> <p>・友達と交代に語句や文を言ったり、写真をさし示したりする。</p>	<p>・指導者が言う写真をさし示すよう指示する。慣れてきたら指導者は、You can see / eat / visit / ride ~.などの文で言うようにし、単元終末の活動につながるようにする。</p> <p>・児童の実態に合わせて、ペアになって協力したり、あるいは1人が言って他方がさし示したりするなど、児童同士の活動にすることも考えられる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>【Let's Chant】 Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・まず文字を見せずに通しで聞かせ、聞き取れた語句を言い、次に言えるところだけ言うように促す。</p> <p>・パートに分け、教師対児童、教室を半分に分け、班ごとに、など活動にバリエーションを加え十分に表現に慣れ親しませる。</p>	デジタル教材
		<p>You can see the Eiffel Tower. (A great tower.) You can eat a croissant. (A yummy croissant.) You can buy chocolate. (A nice gift.) Enjoy your trip and have a good time!</p>	

10分	<p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答える。 ・ペアで行きたい国を伝え合う。相手を替えて数回繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と国名を確認しながら、黒板に国旗カードを掲示する。児童に Where do you want to go? と問いかける。児童に個別に聞き、児童の答えやつぶやきを拾いながら、You want to go to ~. と言い替えていく。I want to go to ~. の言い方を何度も聞かせ、慣れ親しませることがねらい。 	教師用カード (国旗)
<p>やり取りの例</p> <p>T : I want to go to Finland. I want to see Santa Claus. Where do you want to go? S1: America. T : You want to go to America. I want to go to America, too. Where do you want to go, S2? S1: Australia. T : You want to go to Australia. Why? S2: Koalas. T : I see. You want to go to Australia. You want to see koalas. I want to see koalas, too.</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、自分の行きたい国を伝え合うよう言う。 <p>◎行きたい国を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
3分	<p>○Let's Read and Write ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国を選んで書き写し、英文を完成する。 ・完成した文を声に出して言う（読む）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・I want to go to _____. の文に続けて指導者の行きたい国を書いてみせる。児童にワークシートの下にある国から行きたい国を選んで書き写させる。 ・国名を書いた文を含めてワークシートにある3文を、指で追いながら声に出して言ってみようと呼びかけ、ペアで読むように指示する。個別指導をする。 <p>◎行きたい国を選んで国名を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 6-2)
5分	<p>○Sounds and Letters ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つ国旗と国名をつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して慣れ親しんだ国旗と国名を、文字から音を類推し、結び付けさせる。 ・児童の実態に合わせて、活動の前に全員で国名を読み上げてもよい。 ・ペアで助け合って活動してもよい。 	ワークシート (Unit 6-10)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 3 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 3/8 時間
目 標 どの国に行きたいかを尋ねたり答えたりできる。
準 備 出身地に関する地図や絵葉書など (Small Talk 用) , 教師用カード (国旗) , 児童用カード (国旗) , ワークシート (Unit 6-3) , デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
4分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 出身地について</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 指導者の出身地について話す。 一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	出身地に関する地図や絵葉書など
<p>Small Talk の例</p> <p>T : Please look at this map. This is the map of Japan. We are here. (学校の所在地を指さしながら) I am from Hiroshima. Where is Hiroshima? (児童に問いかける)</p> <p>Ss: (広島県のあたりをさす)</p> <p>T : Yes, that's right. I am from Hiroshima. You can see Ituskushima Shirine. This is the world heritage. You can see Hiroshima Atomic Bomb Dome. It's the world heritage, too. You can eat delicious Hiroshima-yaki. Hiroshima is nice. Do you want to go to Hiroshima? Where do you want to go?</p>			
4分	<p>【Let's Chant】 Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <ul style="list-style-type: none"> パートを分けて自分の行きたい国を当てはめてやり取りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体で1度言った後, 主節と掛け声の2つのパートに分かれて言わせるなど, より実際の対話となるよう言い方に工夫をするとよい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>You can see the Eiffel Tower. (A great tower.) You can eat a croissant. (A yummy croissant.) You can buy chocolate. (A nice gift.) Enjoy your trip and have a good time!</p> </div>	デジタル教材
8分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料を見て, 有名な食べ物, 場所, 建物の特徴や魅力の言い方を知る。 指導者の後に続けて分かったことを言い, インタビューの内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 町で外国の人にインタビューしている様子を見て, どのようなことを話しているか聞き取るよう言う。 インタビューを1つずつ視聴し, 聞き取れた言葉を児童と確認する。町や場所の名前など, 固有名詞が多いので既得の知識がない児童には難易度が高いと思われる。完全な理解は求めず, 聞き取ろうとする態度を大いに褒める。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (国旗)
<p>インタビュアー: Hello. May I ask you some questions? 女性 : Yes, sure. インタビュアー: Where do you want to go? 女性 : I want to go to Egypt. インタビュアー: Egypt? Why do you want to go to Egypt? 女性 : You can ride camels. I want to eat "moussaka." I want to see the Pyramids. インタビュアー: Sounds great! Anything else? 女性 : Oh, and I want to visit Cairo. I hear it's very exciting. インタビュアー: Thank you very much. (次ページに続く)</p>			

	<p>(前ページの続き) インタビューア: Hello. May I ask you some questions? 男性 : Yes, of course. インタビューア: Where do you want to go? 男性 : I want to go to America. インタビューア: I see. What do you want to do there? 男性 : First, I want to visit the Statue of Liberty. It's in New York, right? インタビューア: Yes. 男性 : OK. Then I want to watch the Major League Baseball! インタビューア: Great. What else do you want to do in America? 男性 : Mmmmmm. Oh, I want to visit Times Square. It's famous for the New Year countdown. Oh, I want to see Niagara Falls, too. I hear they are wonderful. インタビューア: That sounds nice. Thank you very much.</p>	<p>・分かったことを児童の回答やつぶやきを拾いながら確認をする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">T: In Egypt you can ride a ...? You can eat ...? You can see ...?</p>	
<p>6分</p>	<p>[Let's Chant] Where do you want to go? p.43 ・音声に合わせて、言えるところから言う。</p>	<p>・1度文字なしで聞かせ、聞き取れた語句を発表させる。その後、言えるところから言わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S1: Where do you want to go? S2: I want to go to France. S1: You want to go to France? S2: Yes, I do. I want to go to France. I want to see the Eiffel Tower. S1: That sounds great. S2: I want to eat a croissant. S1: That sounds yummy. S2: I want to buy some chocolate. S1: That sounds nice.</p> </div>	<p>デジタル教材</p>
<p>10分</p>	<p>[Activity] ① p.44 ・ペアで、行きたい国(場所)を尋ねたり答えたりする。ペアを替えて繰り返す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>S1: Where do you want to go? S2: I want to go to S1: Why? S2: I want to (see / eat)</p> </div>	<p>・児童と国名を確認しながら、黒板に国旗カードを掲示する。児童に Where do you want to go? と投げかける。児童に個別に聞き、児童の答えやつぶやきを拾いながら、You want to go to ~. と言い替えていく。他の児童も一緒に尋ねるよう促す。</p> <p>・Where do you want to go? I want to go to ~. の表現を繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親しませることがねらいである。</p>	<p>教師用カード (国旗)</p>
<p>T : I want to go to Turkey. I want to see Cappadocia. It's the World heritage. Where do you want to go? S1: China. T : You want to go to China. Why? S1: I want to see “万里の長城.” T : I see. You want to see the Great Wall. T : Everyone, please ask S2. Where do you want to go, S2? S2: America. T : You want to go to America. Why? S2: I want to see baseball games. T : Wow! Me, too.</p>			

		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり, 自分の行きたい国を尋ねたり答えたりして伝え合うよう言う。 ◎行きたい国を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	
5分	OLet's Read and Write ③ <ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい国(場所)の名前をポスターに書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターに行きたい国の名前を書き写させる。 ・調べ学習として, 次時までに情報を集め, ワークシートに紹介したいことを口で記すよう言う。ワークシートが後のポスターの下書きとなる。 	ワークシート (Unit 6-3)
5分	OSounds and Letters ② <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を活用して, 始まりの音が違う言葉を探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの単語を音声だけで聞き, 最初の音の違いを考えさせる。 ・文字を見て一緒に言いながら確認をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「ツール」 →「Hi, friends! Plus」→「クイズ6 仲間の言葉を集めよう」 </div>	デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

<p>5年 Unit 6—Lesson 4 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 4/8 時間</p> <p>目 標 お勧めの国について伝え合う。</p> <p>準 備 教師用カード (国旗, 状態・気持ち), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-3 : 前時に使用したもの, Unit 6-4), デジタル教材, 振り返りカード</p>
--

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童と挨拶をする。	
5分	<p>【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78)</p> <p>・デジタル教材を視聴しながらジングルを言う。</p> <p>・アルファベットの文字をヒントに国名を言う。</p>	<p>・デジタル教材を視聴しながら誌面 p.78 の Countries Jingle シートを見せ, 指導者が与えるヒントで国名を考えさせる。</p> <p><ヒント例> No.1 hint, red and white. No.2 hint, a circle. No.3 hint, 'J'. (初頭の文字)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Countries」</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (国旗)
10分	<p>【Let's Watch and Think 3】 p.45</p> <p>・最初に児童用テキストの写真を見て, 予想を立てる。</p> <p>・4つ国の観光名所, 建物, 食べ物, お土産物などの特徴や魅力を話している映像資料を視聴し, 線で結ぶ。</p>	<p>・映像は, 旅行会社社員が世界旅行の行き先を勧めている内容である。</p> <p>・視聴する前に, 誌面の写真から予想を立ててから聞かせるとよい。</p> <p>・黒板に exciting や delicious など状態を表すカードを掲示して音声を確認してから視聴してもよい。</p> <p>・児童用テキストの写真をヒントに聞き取れた情報と合わせ, 線で結ぶよう言う。</p> <p>・全体を通して視聴した後は, 少しずつ止めて再び視聴するなど児童の理解を助けるようにする。1度ですべての情報を聞き取れることを目指すのではなく, まず聞ける部分を聞いて大意を理解する。その後, 何度も聞かせ理解を深めさせる。</p> <p>・次の活動と合わせて, お勧めの国の紹介の仕方の例を何度も聞かせることで, Activity での紹介をどのようにしたらよいかを考える際のヒントにさせることがねらいである。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>1. 旅行代理店: Peru is very nice. You can see Machu Picchu. It's great. Look. This is seafood soup. You can buy a poncho. Here is a picture. It's a nice gift.</p> <p>2. 旅行代理店: Visit Australia! Do you want to see koalas? You can see koalas in Australia. It's fun. You can eat lamingtons. They are cakes. You can buy a map of Australia. It's a nice gift.</p> <p>3. 旅行代理店: Go to Italy! You can see the Colosseum. It's exciting. You can eat pizza. It's yummy! You can buy olive oil. It's good for your health.</p> <p>4. 旅行代理店: How about France? You can see the Eiffel Tower. You can go up the tower. You can see the city from there. It's beautiful. You can eat croissants. You can eat French chocolate, too.</p>			
	・答え合わせの時は, 使われていた You can ~. の表現をみんなで言いながら確認する。	<p>・単に答え合わせに終わらないように, 聞き取った情報をもとに児童に質問をし, やり取りをする。</p> <p><指導者の質問例></p> <p>Do you like seafood? Do you want a poncho? Do you like koalas? Do you want to see koalas? Do you like cake? など</p>	

8分	<p>○マッチング・ゲーム</p> <p>・観光名所, 食べ物, 飲み物, 買える物と It's delicious. It's fun. 等を, 理由とともに言う。</p> <p>S: You can see koalas in Australia. It's fun.</p>	<p>・児童と状態を表す語を確認しながら黒板にカードを掲示する。</p> <p>It's (beautiful, delicious, great, exciting, fun).</p> <p>・児童と実際にやりながら進め方を理解させるようにする。指導者が, You can see / eat / buy ~. とカードを見せながら言い, It's ...? と状態を表すカードをさし示しながら, どれかを言うよう指示する。そうする中で, 児童がミスマッチのものを言った際に, 児童に It's delicious?! と問い, 状態を表す語の意味を十分に理解させるようにする。</p> <p>・ただし, 児童の自由な発想や積極的な発話をおおいに褒めるようにする。</p>	デジタル教材 教師用カード (国旗, 状態・気持ち)
10分	<p>【Activity】② p.44</p> <p>・ペアになり, お勧めの国を伝え合い, 誌面表に記入する。</p>	<p>・この Activity は, 世界に目を向け, どんな国に行ってみたいか, またそこではどんなことができるかを, 事前に調べてきたことをもとに考えて伝え合う活動である。</p> <p>・まずは, 指導者が例を示す。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>T: This is Finland. You can see Santa Claus. You can see the aurora / northern lights in Finland. You can ski. You can eat fresh fish. Finland is nice.</p>			
6分	<p>○Let's Read and Write ④</p> <p>・紹介したい国(場所)の観光名所や施設についての文を, 語順を意識しながらポスター(ワークシート)に書き写す。</p>	<p>・前時, ワークシート (Unit 6-3) に書き写した国名を再び, ワークシート (Unit 6-4) に書き写させる。その後, 前活動で伝え合ったお勧めの国の情報をさらにワークシートに記す。その際, ワークシートには, You can see, You can eat / drink, You can buy の後に4線が記されているが, そこに英単語を書くのではなく, 見られる/食べられる/飲める/買えるものなどは, 日本語で記入させる。ただし, 児童の実態に応じて, 英単語を書き写すことも考えられる。あるいは, ワークシート (Unit 6-3) に描いた絵やチラシの切り抜きを貼ってもよい。これをポスター完成品としてもよいし, 別の時間等にこれをもとに新たに画用紙でポスターを作らせてもよい。</p>	ワークシート (Unit 6-3: 前時に使用したもの, Unit 6-4)
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 5 単元名	I want to go to Italy.	行ってみたい国や地域	5/8 時間
目 標	お勧めの国について紹介することを整理し、伝え合うとともに、文字の音を推測しながら音声で慣れ親しんだ簡単な語を読む。		
準 備	児童用テキスト、ワークシート (Unit 6-5 ~ 6-7) , デジタル教材, 行きたい国に関する地図や写真など (Small Talk 用), 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 行きたい国 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。 行きたい国について話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	行きたい国に関する地図や写真など
<p>Small Talk の例 (指導書 p.63 参照)</p> <p>This is Japan. (世界地図を示しながら) We live in Japan. We are from Japan. Tom <i>sensei</i> is from Canada. Where is Canada? Yes. It's here. There are many countries around the world. For example, Australia, India, Kenya, Egypt, Brazil and so on. Which country do you want to go to? Where do you want to go? Me? New Zealand! (ニュージーランドの風景写真を見せながら) I want to go to New Zealand. Look. It's beautiful! I want to go to New Zealand. You can see beautiful mountains, beautiful beaches and beautiful lakes in New Zealand. I have a friend in New Zealand. I want to see my friend, an ALT, Kate <i>sensei</i>! She is from New Zealand. She is a teacher in New Zealand now. I want to go to New Zealand. Do you want to go to New Zealand, too?</p>			
2分	<ul style="list-style-type: none"> 【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78) デジタル教材を視聴しながら言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりバージョンを使って、日本語と違う音声にも注目させながら繰り返すように指示する。 今まで知っていた国名と発音が大きく異なる国はどこかを考えさせる。(エジプト, ロシアなど) 	デジタル教材
<p>デジタル教材: 「教材どうぐばこ」 → 「素材種類別」 → 「チャンツ・ソング・ジングル」 → 「リスト」 → 「ジングル」 → 「Countries」</p>			
3分	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Chant】 Where do you want to go? (オプション) p.43 歌詞を自分の情報に置き換えて言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員でチャンツを繰り返した後、「音声なし」で自分の情報を当てはめて言うように指示する。 ペアになって、自分の情報に当てはめたり、相手の情報に合わせたりして言い合う。 	デジタル教材
<p>You can see the Eiffel Tower. (A great tower.) You can eat a croissant. (A yummy croissant.) You can buy chocolate. (A nice gift.) Enjoy your trip and have a good time!</p>			
6分	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Listen】 p.47 写真をヒントに、どの国か予想を立てる。 ヒントになる言葉や表現を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3つの国旗を見て、児童と国名を確認する。 誌面の写真をもとに、3つのうちのどの国かを予想を立てさせようで聞かせることで、聞く目的をもたせるようにする。 1度聞かせ、自身の予想が合っているかを確認させ、どんなところからそう思ったのかを尋ねる。再度聞いて答えを確認する。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>1. You can see the Taj Mahal. It's famous. You can eat delicious curry and nan. You can eat tandoori chicken. You can see many animals in Elefantastic. What country is this? 2. You can see the aurora. It's beautiful. You can see the Rocky Mountains and you can see Niagara Falls. It's beautiful in winter. You can eat maple syrup and lobsters. What country is this?</p>			
6分	【Let's Watch and Think 4】 p.46	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取れた言葉を What did you hear? と問いかける。 	デジタル教材

	<ul style="list-style-type: none"> 映像資料を見て、分かったことを誌面口書き発表する。 	<p>単語レベルでも聞き取れば大いに褒める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再び視聴し聞き取れたことを問う。That's right.と褒めながら You can see the Iguazu Falls. などと指導者は文で言うようにする。 	児童用テキスト
	<p>Hello. My name is Kosei. Brazil is a nice country. You can see Iguazu Falls. They are great! You can see Cristo Redentor, in Corcovado. It's very famous. In Brazil, you can visit coffee farms. Do you like coffee? You can buy good coffee for your family. You can see the carnival in Rio de Janeiro. It's very exciting! You can see beautiful beaches. You can take a trip to the Amazon River. It's exciting. Thank you.</p>		
20分	<p>【Activity】 ③ p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> You can see / eat / buy / drink ~. などの既習表現も使って紹介する内容を考える。 ペアで紹介し合う。 <p>○Let's Read and Write ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスターを見て、知っている単語に印を付ける。 さらに自身のおすすめの国の内容に付け加えをして、ペアで紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に引き続いて、これまでに書き写したワークシートや調べたことなども参考に、お勧めの国の内容を考えるよう言う。ワークシートに記したことは、自身の考えをまとめるものであり、決して読み原稿としては扱わないことに留意する必要がある。 ある程度できたら、ペアで紹介し合うよう言う。個別に支援する。 ◎お勧めの国について紹介することを整理し、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 こうせいがお勧めの国として紹介するブラジルについて書かれたワークシート (Unit 6-5 ~ 6-7) の中から音声で慣れ親しんだ単語や表現を見つけ、印をするように指示する。 この活動は、自分のお勧めの国紹介で付け加えたい情報を得ることをねらいとしている。得た情報から、自身のおすすめの国紹介に付け足したり、構成を考えたりし、ペアで紹介し合うよう言う。 ◎お勧めの国について紹介することを整理し、文字の音を推測しながら読んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 	ワークシート (Unit 6-5 ~ 6-7)
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 6 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 6/8 時間
目 標 お勧めの国について紹介することを整理し、文字の音を推測しながら他者に伝える目的を持って書き写し、意味が分かる。
準 備 土産物や建造物の写真など (Small Talk 用), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-3, 6-4, 6-8, 6-9), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 行きたい国にまつわる土産物や建造物	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。 紹介したい土産物や建造物等について話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 写真や絵葉書などを見せながら、行きたい国の土産物や建造物などの話をする。 	土産物や建造物の写真など
Small Talk の例 T: I want to go to New Zealand someday. This is the postcard of New Zealand. You can see many beautiful mountains and lakes there. (絵葉書を示しながら) I want to go up the sky tower in Oakland. You can buy honey. Manuka honey from New Zealand is very good for your health.			
3分	【Let's Chant】 Where do you want to go? (オプション) p.43 <ul style="list-style-type: none"> 台詞を、自分の情報に置き換えチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態により、スピードやチャンツを選び言わせ、次第に発話への自信をもたせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> You can see the Eiffel Tower. (A great tower.) You can eat a croissant. (A yummy croissant.) You can buy chocolate. (A nice gift.) Enjoy your trip and have a good time! </div>	デジタル教材
8分	【Activity】 ④ p.44 <ul style="list-style-type: none"> まとめた紹介内容を確認し、前時とは違う相手とペアになり、相手意識をもって人に伝えるための練習をしたり、ペアでアドバイスをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアで、お勧めの国を紹介し合い、アドバイスをし合うよう伝える。 ある程度言えるようになれば、今度はワークシートをなるべく見ずに、顔をあげて話すように伝える。 	ワークシート (Unit 6-3, 6-4)
10分	○Let's Read and Write ⑥ <ul style="list-style-type: none"> 紹介したい国(場所)の名物料理や飲み物についての文を、語順を意識しながら書き写す。 紹介したい国(場所)の土産物や買えるものについての文を、語順を意識しながら書き写す。写真等を貼ってポスターを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 例にならって、自分が伝えたい内容を、参考例(ワークシート Unit 6-8にある Hikari の紹介文)を見て、語順を意識しながら丁寧にワークシート書くよう言う。 ただし、I want to see / eat / buy の後に4線が記されているが、英単語を書くのではなく、ここは日本語(カタカナなど)で記させる。また、It's~. は、ワークシート (Unit 6-9) 下にある Hint Box から語を選んで書き写させるようにする。たとえ、see / eat / buy の後に日本語で書くとしても語順を意識させることが大切である。よって、書写する際には丁寧に書くとともに、小さい声を出して読みながら、音と意味と文字を結び付けながら行うように伝える。 指導者が例を板書し、児童の気づきを促しつつ、語順にも注意を払うよう指導する。 またこの活動の目的は、紹介文の発表原稿作成ではなく、紹介する際に自分の考えをまとめることであるこ 	ワークシート (Unit 6-8, 6-9)

		<p>とに留意する。</p> <p>◎お勧めの国について紹介することを整理し、文字の音を推測しながら他者に伝える目的をもって書き写している。</p> <p>〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p>	
7分	<p>【Let's Watch and Think 5】 p.48</p> <p>・ Hikari と Kenta のお勧めの国の発表を聞き、内容を聞き取るとともに、自分の発表のイメージをもつ。</p>	<p>・ 2人のスピーチを聞いて、5つの国のどこの話か考えさせる。</p> <p>・ 視聴する前に、国名を確認するとともに慣れ親しんだ文を目にすることで、これから視聴して得られる情報への興味・関心を高める。</p> <p>・ 映像視聴を通して、児童が発表のイメージをもてるようにする。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>No.1 : Hello. My name is Hikari. In this country, you can visit Ayutthaya. You can see the palace, too. You can eat tom yum kung. Do you like spicy soup? It's spicy but delicious. You can buy coconut oil. It's good. Thank you!</p> <p>No.2 : Hello. My name is Kenta. In this country, you can see the Neuschwanstein Castle. You can see a wonderful cathedral in Cologne, too. It's beautiful. You can eat sausages. I like sausages very much. You can buy nice scissors. They are great. Thank you.</p>		
9分	<p>○スピーチを工夫しよう。</p> <p>・ 指導者のスピーチ (Small Talk : 行きたい国) をしっかり聞く。</p> <p>・ 自分のお勧めの国の紹介をペアで役割を交代しながら練習し、2か所の観光案内を共通理解する。</p>	<p>・ 相手意識をもって、お勧めの国がしっかり伝えられるように指導者がモデルとなって、再び Small Talk をする。</p> <p>・ 「メモを見ながら話す」「小さい声で話す」「何度も詰まって話す」などの例を実際に指導者が見せ、児童に Is it OK? と問いかけてみてもよい。その場合は、何をどう改善すべきかを児童に考えさせるとよい。</p> <p>・ ペアで発表を交互に行い、どのように工夫すればよいかアドバイスし合わせる。</p>	ワークシート (Unit 6-8, 6-9)
3分	<p>・ 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・ 挨拶をする。</p>	<p>・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・ 挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 7 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 7/8 時間
目 標 他者に配慮しながら、自分のお勧めの国について内容を整理し伝えようとする。
準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 6-8, 6-9) , デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。	
5分	【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78) ・ジングルを言う。 ・ジングルに出てくる国以外にどんな国があるかみんなで考える。(オリンピックの出場行進などを参考に)	・児童の実態により、スピードやオプションを選んでジングルを言わせるようにする。 ・黒板にアルファベット小文字のカードをいくつか掲示して、児童がジングルで記憶している国名を言ったり、あるいは他にどんな国があるか問いかけたりすることで、児童が自分で調べるきっかけにもできる。ただし、児童がまだ十分に理解できない読みのルールが適応される国名もあるので、そこで詳しく説明するのではなく、英語には読み方のルールがあることを中学校で学習することを伝える。	デジタル教材 教師用カード (アルファベット小文字)
28分	◎お勧めの国を紹介し合う。 ・ペアになり、紹介する側と聞く側に分かれて、互いのお勧めの国とその理由を伝え合う。 ・その時、どのように工夫をすれば相手に伝わりやすいかを考えながら伝え合う。	・前時までに練習してきたことを確認した上で、クラスのいろいろな友達とペアになり、互いにお勧めの国を紹介をさせる。 ・個別に支援する。 ・活動の途中で中間評価をして、よいモデルを学級全体で共有し、よりねらいに沿った活動になるようにする。 ◎他者に配慮しながら、自分が行きたい国について理由も含めて伝えている。 <行動観察・振り返りカード点検>	ワークシート (Unit 6-8, 6-9)
7分	◎Sounds and Letters ③ ・デジタル教材で、始まりの音が違う言葉(単語)を探して、発表する。	・3つの単語を音声だけで聞き、最初の音が何かを考えさせ、3つのうち違う音の単語が何かを考え、その単語がどれかを答えるよう言う。 ・文字を見て一緒に言いながら確認をする。 ・第3時で行った活動を繰り返し、What's the first letter? と最初の文字を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「ツール」→「Hi, friends! Plus」→「クイズ7 始まりの音がちがうのはどれでしょう」 </div>	デジタル教材
3分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 8 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 8/8 時間
目 標 他者に配慮しながら、自分のお勧めの国について内容を整理し伝え合おうとする。
準 備 教師用カード (国旗), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-8, 6-9), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。	
5分	【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78) ・ジングルを言う。 ・ペアで Countries Jingle シートを見て、指導者が言う国名を聞き、どのアルファベットの文字で始まるかを考え、国をさし示しながら言う。 ・ペアで問題を出し合う。	・児童の実態により、スピードやオプションを選んでジングルを1度言わせる。 ・児童用テキスト p.78 の Countries Jingle シートを開かせ、国名を言う。 <例> T: Japan. Ss: J. T: Very good. T: Korea. Ss: K. T: Good job ・ペアで問題を出し合うよう指示する。 ・文字と音については、単元を通して適宜評価する。 ◎他者に配慮しながら、自分のお勧めの国を紹介したり、紹介を聞いて情報を聞き取ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>	デジタル教材 児童用テキスト
20分	○お勧めの国を紹介し合う。 p.44	・前時の交流で知った新たな情報も加えて、学級全体でお勧めの国の紹介をし合わせる。クラスを紹介する側、それを聞く側の2グループに分け、各児童が興味のある国のブースに行ってお勧めのポイントを聞けるようにする。また、各ブースを回り得た情報や自身のお勧めの国も含めて、もっとも行きたい国を選んで、各児童が後で発表することも伝えておく。 ◎他者に配慮しながら、自分のお勧めの国を紹介したり、紹介を聞いて情報を聞き取ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>	ワークシート (Unit 6-8, 6-9)
10分	○行きたい国ランキングを投票で決める。 ・自分のお勧めの国も含めて、1番行きたい国を答えて、学級の行きたい国ランキングを決める。	・指導者は全員に向かって Where do you want to go? と問いかけ、挙手した児童に答えさせる。 ・答えた児童に全員で Why? と理由を尋ねて答えさせる。 ・答えた国のカードを黒板に掲示しながら、Who wants to go to ___? と問いかけて、その国を選んだ人数を黒板に記録する。 ・何度かこのやり取りを繰り返し、学級の人気ランキングをまとめる。 The No. 1 country is ___!	教師用カード (国旗)
5分	【STORY TIME】 p.49 ・絵本の読み聞かせを聞く。	・児童用テキスト p.49 の絵本ページの読み聞かせをする。 ・絵本を読み聞かせる際には、一方的に絵本の台詞を読むのではなく、児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで、話の筋についての理解を助けるとともに、児童を絵本の世界に引き込むことができる。	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>At lunch time マリア：I have a brother. He is a junior high school student. We sometimes play soccer together.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は、やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台詞を指で追って聞いたり、自分で読むことに挑戦したりすることを想定し、短く単純なものにしている。よって、指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い、児童の想像を膨らませるようにすることが大切である。 ・指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、物語の筋を理解するうえで大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。デジタル教材を使って、あるいは指導者が読んで行う。 ・次のような内容と関連した質問を児童にすることで、内容の理解をより深めるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>T: Do you have any brothers / sisters? S1, you have a brother. Is he a junior high school student? Do you play soccer? Do you like soccer? What sports do you like? など</p> </div>	
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び単元全体を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード